

授業科目	*成人慢性期看護学実習（2023 年度入学生）				実務家教員担当科目	-	
単位	2	履修	必修	開講年次	3～4	開講時期	後期・前期
担当教員	原 頼子、中原 智美						
授業概要	臨床において慢性期・終末期看護の実務経験を有する教員が、臨地指導者と調整を図りながら以下の実習目標の達成に向け、成人慢性期看護学実習を展開する。 【目標】 慢性疾患をもつ成人の特性を理解し、患者およびその家族のセルフケア能力を高め、QOL の維持・向上を目指した看護を実践する能力を養う。						
授業形態	対面授業				授業方法	実習	
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	1. 慢性疾患をもつ対象の身体・心理・社会的側面について理解し、患者の全体像をとらえることができる（DP2-1）。 2. 慢性疾患をもつ対象の個別性をふまえた看護を展開することができる（DP2-1）（DP4-2）。 3. 慢性疾患をもつ成人に対して、生活の援助および診療に伴う援助技術を実践することができる（DP2-1）（DP4-2）（DP5-1）（DP5-2） 4. 保健・医療・福祉チームにおける看護の役割や機能を理解し、チームの一員としての望ましい協働のあり方を考えることができる。（DP3-2）。 5. 継続看護の必要性およびそのために活用できる社会資源について述べることができる。（DP3-1）。 6. 看護専門職としての責務を認識し、倫理に配慮した態度をとることができる（DP4-1）。 7. 慢性疾患をもつ成人のケアを通して、人の生き方や QOL について思考を深め、看護観を育むことができる（DP2-1）（DP4-3）。 （具体的な行動目標は看護学実習要綱を参照してください。） 教員や実習指導者の助言・指導を受けながら目標 1 ～ 7 を 80%未満達成できる。						
理想的レベル	1. 慢性疾患をもつ対象の身体・心理・社会的側面について理解し、患者の全体像をとらえることができる（DP2-1）。 2. 慢性疾患をもつ対象の個別性をふまえた看護を展開することができる（DP2-1）（DP4-2）。 3. 慢性疾患をもつ成人に対して、生活の援助および診療に伴う援助技術を実践することができる（DP2-1）（DP4-2）（DP5-1）（DP5-2） 4. 保健・医療・福祉チームにおける看護の役割や機能を理解し、チームの一員としての望ましい協働のあり方を考えることができる。（DP3-2）。 5. 継続看護の必要性およびそのために活用できる社会資源について述べることができる。（DP3-1）。 6. 看護専門職としての責務を認識し、倫理に配慮した態度をとることができる（DP4-1）。 7. 慢性疾患をもつ成人のケアを通して、人の生き方や QOL について思考を深め、看護観を育むことができる（DP2-1）（DP4-3）。						

③関連図書は身近に用意しておきましょう。

④実習中は自己の健康管理は必須です。

⑤困ったときは一人で悩まないで、グループの仲間や、教員・臨床指導者に相談してください。

